
平岩弓枝「花影の花」 ～大石内蔵助の妻、りく～

出演：水谷八重子

大石内蔵助の妻りくの生涯を、
水谷八重子がたったひとりで演じる
2時間の一人芝居

Artist Japan アーティストジャパン

〒105-0014 東京都港区芝 3-40-6 港ビル本館 6F
TEL:03-6820-7576 / FAX:03-5443-7295
<http://www.artistjapan.co.jp> mail@artistjapan.co.jp

❖ スタッフ ❖

平岩弓枝「花影の花—大石内蔵助の妻」（新潮社・刊）より

上演台本 / 笹部博司

演出 / 青井陽治

制作協力 / アーティストジャパン

企画製作 / りゅうとぴあ 新潟市民芸術文化会館

❖ 出演 ❖

水谷八重子

❖ 本企画について ❖

この企画は、『りゅうとぴあ発 物語の女たちシリーズ』の第1弾として
りゅうとぴあ 新潟市民芸術文化会館の企画・製作で立てられたものです。

『りゅうとぴあ発 物語の女たちシリーズ』

女優たちが、物語の女たちの心を物語る
優しく、美しく、しなやかな日本の女たち。
彼女たちは、私たちに勇気と誇りをくれる。
この企画は、名作の朗読会ではない。
その素晴らしい日本の女たちの心を、
人生という戦場を勝ち抜いてきた女優たちが、
自分自身の人生の物語として語り始める。

❖ 作品概要 ❖

原作は平岩弓枝作の「花影の花～大石内蔵助の妻～」です。
この作品は、忠臣蔵で知られる大石内蔵助良雄の妻・りくの討ち入り後の生活を描いており、第25回の吉川英治文学賞を受賞した小説です。

作品は老年にさしかかった、りくの回想によって語られるという形式でかかれており、その心の独白をそっくりモノローグという一人芝居に仕立ててみました。

一人の女の一生――。

りくは父と母に愛され、兄にもこよなく可愛がられ、成人し、親同士が約束をした結婚をする。そしてその夫がたまたま、後に討ち入りを敢行し、見事主君の仇討を成し遂げた。その首謀者となった大石内蔵助であった。

その男との間に、りくは五人の子供をなしている――くう、吉之進、るり、大三郎……そして長男・松之丞、のちの主税である。

満開の桜の花の中であって、誰がひっそりと咲く野の花に目を留めるだろうか？作家の平岩弓枝は、ひっそりと生き、ひっそりと死んでいく花影の花を描こうとした。花影の花にも命がある。その命は、悩みながら、とぼとぼと生きていく。ここでの花影の花は、大石内蔵助の妻りくであり、その不肖の息子・大三郎である。

大石内蔵助という大義を生きた夫は、妻を置き去りにし、なおかつ最愛の長男松之丞（大石主税）を道連れに死んでしまった。

一人の女性の人生に目を向けると、なんとたくさんの喜びと悲しみに満ち溢れていることだろう。なんと多くの苦難と試練が待ち受けていることだろう。

その坂道をりくは静かな足取りで一步一步と歩いていく。

その豊かな、深い、優しい心の世界を、水谷八重子という女優に、歩んでもらおう。そこには、誰でもが共有でき、共感できる大きな感動と心の浄化があるはずだ。

平岩弓枝「花影の花」～大石内蔵助の妻、りく～ 出演・水谷八重子

公演は、アーティストジャパンにて制作業務を行い、
また全国各地での上演窓口としても承ることは可能です。
お気軽にお問い合わせくださいませ。

水谷八重子



父は歌舞伎俳優・14代目守田勘弥、母は初代水谷八重子。

1955年8月、16歳で新派・歌舞伎座で初舞台。同月、ビクターレコードからジャズ歌手としてデビュー。以後、映画「青い山脈」、「座頭市物語」、「悪名」などに出演。「花の吉原百人斬り」でNHK最優秀助演女優賞を受賞。テレビでは「あなたとよしえ」、「若い季節」などでお茶の間の人気者に。舞台では母、八重子の活躍する新派はもとより、東宝のミュージカルなど数多くの作品に出演。新派の「佃の渡し」、「深川不動」、「滝の白糸」などが代表作として評価が高く、文化庁芸術選奨最優秀賞（1973年）菊田一夫演劇賞（1978年）など数多く受賞。1993年には「新派の伝統を支える代表的な女優」として東京都都民文化栄誉章を受章。

1995年、2代目水谷八重子を襲名、新派の大黒柱としての役目も担う。

文筆にもその才能を生かし「あしあと」、「拝啓水谷八重子様」などの著作がある。暮しの手帖に連載のエッセイは2000年、2001年、2002年と続けてベストエッセイ集に選ばれる。

朗読の世界においても新境地を開き、瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」のライブをはじめ、泉鏡花 作「義血侠血」のCDを発売するなど、2001年には芸術祭賞優秀賞を受賞。

最近是新派の舞台の傍ら、NHK「コメディー道中でござる」、「ためしてガッテン」、「きよしとこの夜」、「スタジオパークからこんにちは」、NTV「おもいっきりテレビ」などにも出演。

2001年、紫綬褒章を受章。2009年、旭日小綬章を受章。